学校番号	412

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	IT ライセンス	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	全商　ビジネス文書実務検定　模擬試験問題集　１級（実教出版） 全商　情　報　処　理　検定　模擬試験問題集　２級（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

就職・進学すると、レポートや報告書をコンピュータで作ることが多くなります。
正しい書類の書き方やマナーを学び、見やすい資料作りが出来るようになるようにしましょう。
たくさんの実技課題をやることで、達成感や充実感を得ることができ、将来自信を付けることができると思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】文書作成、表計算を通じてオフィスソフトの実務的な操作や活用方法について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】情報に関する課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、情報システムの開発やコンテンツの制作およびこれらの運用などに主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文書作成、表計算等におけるオフィスソフトの基本的･基礎的な知識､技能を習得し主体的にかつ、適切にそれらを活用している	課題解決を目指して思考を深め、習得した基本的・基礎的な知識、技能をもとに、それらを適切に判断し、表現できる	情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ビジネス文書	・ビジネス文書を作成するための手順について理解する。 ・社内文書の社外文書の書き方のポイントや注意点を理解する。 (段落の設定、ページ設定、オブジェクト挿入、表の作成、合計の計算、並べ替え、段組み、ドロップキャップ、透かしなど)	a: 文書の基本的なレイアウト，文字のフォントやスタイルなどについて理解するとともに，実際に報告書やレポートを作成することができる。 b: 報告者やレポートの目的に沿って，情報を収集し，文書の構成やレイアウトなどの体裁を考えながら，ワープロを用いて読む人が理解しやすい文書を作成することができる。 c: わかりやすい報告書やレポートを作成するため，文書の構成やレイアウトについて自ら進んで工夫し，教員の助言や相互評価に基づいて改善しようとしている。	小テスト 成果物	小テスト 成果物	ワークシート
	情報のデジタル化	・コンピュータでの数値の計算方法について理解する。	a: 2 進数・10 進数・16 進数を相互に変換することができ、加算や減算をすることができる。 b: 2 進数・10 進数・16 進数を用い，目的に応じて適切に情報量を表現できる。 c: コンピュータによる演算や数値計算の仕組みについて関心を示し，理解しようとしている。	小テスト	小テスト	ワークシート
2学期	情報デザイン	・文化祭ポスターの制作	a: 情報をわかりやすく伝達するための文字や図の表現の工夫，表やグラフ，配色の工夫など基本的な方法を理解している。 b: 情報デザインを配慮したポスターを作成し、情報を公開することができる。 c: 情報をわかりやすく伝達するために，文字や図，表やグラフなどを工夫して表現する学習活動を自ら進んで行い，評価を受けて改善を図ろうとしている。	成果物	成果物	ワークシート

	データの活用	・表計算ソフトの活用方法について理解する。 (vlookup,hlookup,countifs,sumifs,averageifs,rank,and,or など) ・データを適切なグラフや図に表現する方法を理解する。	a: 表計算ソフトで統計処理に用いる関数を活用してデータを処理することができる。 b: 問題解決の目的に応じて，データをグラフなどで適切に可視化して表現する力がある。 c: 表計算ソフトを用いて収集した情報を処理したり，グラフで可視化したりすることに興味をもっている。	小テスト 成果物	小テスト 成果物	ワークシート
3学期	総合問題	・ワープロソフト・表計算ソフトの総復習	a:文書作成、表計算作成ソフトを適切に活用することができる。 b:課題に応じて、体裁やグラフを適切に判断し、表現することができる。 c: 文書作成、表計算作成ソフトを使って、主体的に問題解決に取り組もうとしている。	小テスト	小テスト	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度